

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団体名	たるBOOK		
事業名	小樽に紙芝居の文化を根付かせよう2018		
実施期間	平成30年9月29日(土)		
事業の目的及び期待する効果	本に触れ、読むだけではなく、紙芝居という手法で「本との出会い」を作り、小樽市民がいつでも・どこでも・だれもが楽しめることを目的とし、「本」をツールにまちづくりに貢献できる人材を育て、また、イベントとして定着させることで活性化を図ることを期待する。		
実施額	事業費	118,901円	助成額 42,681円
事業内容	<p>①親子で楽しむ紙芝居の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 9月29日(土) 10:30-11:30 ・会場 ロース幼稚園 ・目的 親子で紙芝居を見る体験をしてもらい、紙芝居に興味・関心を持ってもらい、親子で紙芝居の楽しさを知ってもらう。 ・内容 天気が良かったので、幼稚園のホールではなく、園庭で行ったり、クイズ仕立ての紙芝居では景品をプレゼントするなど、ただ、紙芝居を見せるだけではなく、色々と工夫されていて、普段なかなか体験できないようなことだったので、子どもたちは紙芝居の世界に引き込まれていた。 <p>②紙芝居講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 9月29日(土) 13:30-16:30 ・会場 小樽市生涯学習プラザレピオ ・目的 紙芝居の文化を小樽に根付かせるために、多くの人が紙芝居を演じることができるよう学んでもらう。 ・内容 人数が少なかったため、シナリオを実際に読んで、それぞれにアドバイスしてもらい、参加者はどんどん上達していった。また、紙芝居の演出についても、細かく色々とアドバイスしていただき、勉強になったと参加者からは大変好評だった。 <p>③大人が楽しむ紙芝居の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 9月29日(土) 19:00-20:00 ・会場 小樽市生涯学習プラザレピオ ・目的 大人が紙芝居を楽しむ機会を作り、小樽に紙芝居の文化を根付かせるきっかけにする。 ・内容 昨年好評だった「金色夜叉」を再演、また、後編も上演するなど、参加者の希望に沿うプログラムで参加者は大いに楽しみ、喜んでいった。また、小樽出身の紙芝居作家の作品も皆さんの心に響くものだった。 		

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

◎事業の日程について

2/2

月 日	内 容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
9月29日(土)	親子で楽しむ紙芝居の会	30組	3組8名
9月29日(土)	紙芝居講習会	20名	2名
9月29日(土)	大人が楽しむ紙芝居の会	20名	12名

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

1年で達成できるとは思っていなかったが、参加人数は非常に残念な結果になってしまった。今回はチラシの印刷も早く済ませ、学校関係配布・行政機関に置いてもらうなど、早い時期から行った。また新聞やラジオでの告知、市役所・たるBOOKのFBでの告知も行ったが、思ったようには集まらなかった。内容としては、①紙芝居を楽しんでもらう体験、②紙芝居について学ぶ体験と2本立てで行うことができたので、充実していたと思う。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

アンケートからもわかるように参加した方々の満足度は高かった。また、他のイベントなどが重なり、参加できなかった方々からは「行ってみたい」「来年は参加するのでまた、企画してほしい」という意見も多かった。

市長表敬訪問もさせていただき、迫市長にも楽しんでいただいた。「都合がいたら、行きたい」と仰っていただいたが、議会中でお忙しかつたので残念だった。

3. 今後の事業について

2年目、3年目も同じように①紙芝居を楽しんでもらう体験、②紙芝居について学ぶ体験と2本立てで行い、紙芝居の良さを皆さんに知ってもらい、多くの人に演じてもらえるようにしたい。また、告知や周知方法、「紙芝居を楽しむ会」の企画内容について、もう少し改善の余地があると思うので、課題として検討していきたい。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等